

芦北町音楽祭

広報

あしきた

②

2005.2.15 No.2

<http://www.ashikita-t.kumamoto-sgn.jp>



ダイナミックなマーチングで会場を魅了

初代 芦北町長 就任

就任のごあいさつ

本年一月一日、新「芦北町」が誕生以来、一か月半が経過しましたが、事務の大きな混乱もなく順調な行政運営がなされております。さて、私は、先の町長選挙におきまして、無投票当選という栄に浴し、一月二十三日付けをもって新「芦北町」の初代町長に就任いたしました。これもひとえに町民皆様の御支援・御厚情の賜であり、改めてここに深く感謝を申し上げる次第であります。

新世紀初頭に当たり、時代の変遷と社会構造の変革とともに地方分権が実行のときを迎え、新たな時代の要請にこたえるべく、両町は合併という道を選択したところであり、合併は単なる行政の効率化を目指すものではなく、新たな町づくりの始まりでもあります。

合併のメリットを最大限に生かし、合併を地域づくりのチャンスととらえ、新町建設計画をもとに農林水産業をはじめ、福祉、教育、観光、地域づくり等々積極的な事業を展開してまいります。

私は、旧芦北町長としての三期十年余の実績とこれまでの経験をもとに、初心に返り合併という大義に基づき、約二万二千町民の代表として、町民の皆様様の心を自らの心として町政の推進に活かしてまいり所存であります。

もとより微力ではありますが、お寄せいただきました信頼と期待にこたえるべく、歴史的な一歩を踏み出した新「芦北町」が、町民総参加の理念のもと、将来、「あの時合併してよかった」と評価を受けるような子孫に誇れる新未来づくりに向け、こん身の情熱を捧げてまいります。

芦北町長 竹崎 一成



【プロフィール】

竹崎 一成
1947.3.21 生まれ (57 歳)
芦北町大字乙千屋 594 番地

1975 年～1994 年 旧芦北町議(5期 19 年)
1994 年～2004 年 旧芦北町長(3期 10 年)

芦北町体育協会 会長
芦北町社会福祉協議会 会長
芦北町国際交流協会 会長
芦北町町議会 会長

新たな誓いを胸に

芦北町成人式

「成人の日」の1月10日、しろやまスカイドームで平成17年芦北町成人式が行われました。今年、320人が大人の仲間入りをしました。

しろやまスカイドームのホールや玄関、駐車場では、真新しいスーツや晴れ着に身を包み、同級生との再会を喜び合い、笑顔にあふれていました。また、式典に先立ち、大人への門出を祝って「芦北鉄砲隊」が火縄銃で祝砲。轟音が響き渡ると成人者から嬉きの声と拍手が上がりました。

式では、竹崎町長職務執行者(当時)が「新社会人として責任ある行動が求められます。その

ためにも世界に視野を広げ、世界の中の日本、日本の我が郷土、そして自分自身がどうあるべきかを真剣に考えていくことが大切です。新世紀はまさしくあなたの方の双肩にあります」と式辞を述べました。

成人者からは、「20歳の抱負」として、有吉紗耶佳さん(湯浦中卒)と石橋香恵さん(田浦中卒)が発表。有吉さんは、「二十歳になりまだスタートラインに立ったばかりです。これまで培ってきたことを生かしながらかつと勉強し、将来の道をつくっていきたく思います」と、石橋さんは「仕事面でも私生活面でも自分に責任を持ち、自分の周囲の方々に感謝の気持ちを忘れることなく、今以上に頑張ります」と述べられました。



芦北鉄砲隊の祝砲演武



「20歳の抱負」を述べる有吉さん(上)、石橋さん(下)



続いて、木ノ下好太さん(佐敷中卒)が交通安全を宣言。当日、会場が一番に受け付けをした勝田由美子さん(大野中卒)に、代表して記念品が贈られました。最後に、成人者を代表して吉尾勝義さん(吉尾中卒)から謝辞が述べられました。式の後も駐車場、玄関前などで、近況報告をしたり、記念写真を撮ったり、携帯電話の番号を交換する姿がいつまでも見られました。

三太郎路を力走



第55回熊日三太郎駅伝競走大会

1月9日、県内で最も古い歴史と伝統を誇る第55回熊日三太郎駅伝競走大会が、水俣市役所前をスタート、農村環境改善センター前をゴールとする、6区間（中学生は10区間）41kmのコースで行われました。



午前10時 水俣市役所前を一斉にスタートする選手



区間最高の走りを見せた引地選手（芦北A）

大会には、水俣市・葦北郡各町と八代市二見地区から、一般10、高校4、中学8の合計22チームが出場。芦北町からは、一般の部に田浦A・B、芦北A・B、高校の部に芦北高校A・B、中学校の部に田浦中、佐敷中、湯浦中が出場し、タスキをつなぎました。

で総合優勝を争いました。一般の部では、1区で水俣チームに上位を奪われたものの、2区で芦北Aの田中豊満選手（区間最高）、田浦Aの荒川国博選手（区間2位）が力走を見せ、芦北Aが首位に、田浦Aが3位に順位を上げました。その後、芦北Aは2区間で区間最高の走りを見せトップでゴール。田浦Aは力走を見せましたが5位でゴールしました。また、総合優勝のかかった総合タイムでは、芦北Bが4位でゴールしたものの、水俣市に4分13秒差をつけられ総合2位の結果となり、3連覇を逃しました。



一般を抑え大会新記録でゴールした芦北高Aチーム

=上位と町関係記録=

◎一般	
＜総合＞	
①水俣市	4時間43分59秒
②芦北	4時間48分12秒
③田浦	5時間11分07秒
＜チーム別＞	
①芦北A	2時間18分25秒
②水俣A	2時間20分17秒
③水俣B	2時間23分42秒
④芦北B	2時間29分47秒
⑤田浦A	2時間31分16秒
⑥田浦B	2時間39分51秒
◎高校	
①芦北高A	2時間17分43秒 (大会新)
②水俣高A	2時間21分32秒
③水俣工高A	2時間34分20秒
④芦北高B	2時間35分24秒
◎中学	
①湯浦中	2時間28分40秒
②水俣中A	2時間29分27秒
③田浦中	2時間33分06秒
④佐敷中	2時間35分07秒

職場を体験しよう

1月26日、27日の両日、佐敷中学校の2年生91人が、総合学習の時間を利用した職場体験を行いました。町内の官公庁、福祉施設、商店など27事業所に分かれ、それぞれ目的を持って体験に臨みました。

「広報関係の業務を体験したい」と役場の広報係を訪れたのは、川添藍子さん、他村祐香里さん、森田早紀さんの3人。

「まちだより」「広報あしきた」「なごやか通信」の業務概要の説明を受けた後、さっそく同級生の職場体験の取材にかけました。

最初に訪れた佐敷駅前前理容・美容店では、カメラを構え恐る恐る写真撮影。続いて、なごやか通信放送用のインタビュー収録を体験。初めての収録に緊張しながらも、職場体験の目的、業務の内容などをしっかりと聞き取っていました。

続いて取材に訪れた佐敷幼稚園では、同級生の職場体験の状況を確認し、それぞれインタビューの相手を見つけてメモを取っていました。また、幼稚園の先生へのインタビューでは、積極的に質問し、職場体験している生徒の様子など詳しく聞いていました。

取材の後には、メモを確認したり、録音したインタビューを聞いたりしながら、真剣な表情で記事を書いていました。記事を書き終えると、タイトルやレイアウトに工夫を凝らしながら編集作業を行い、お互いの記事を確認し合いました。

役場で2日間の職場体験を終えた他村さんは「いろんなところに取材に行くうちに町の事が分かってきて楽しかった」と感想を語ってくれました。

「役場広報係で職場体験した3人が編集した記事」

佐敷町の職場体験

働くことの意味、大変さ、それらを学ぶために佐敷中学校2年生91人が1月26、27日に、職場体験学習をしました。

芦北町にある様々な職場に、佐中生徒が学習に行っています。今回取材に行ったのは、佐敷駅前にある美容室モンキーマジック、佐敷幼稚園です。美容室で職場体験をしている一人の女子生徒は、将来美容の関係の仕事につきたいということでした。美容室での生徒の主な仕事は、カットしたあとの髪の毛を掃い



フロアの掃除をする女子生徒



子供と触れ合う佐中生徒

たり、タオルを洗ったり、片付けをしたりします。女子生徒は「お客さんと接するのが楽しい」と話してくれました。

佐敷幼稚園では7人の佐中生徒が職場体験をしていました。生徒は子供たちと一緒に遊んだり、給食の準備をしたりと、とっても楽しいようです。子供たちもとても喜んでいて「子供たちに対してとても優しく接してくれている」と話してくれました。



園児と生徒の様子

浦中、水俣中Aの3チームが中盤の5区間でトップを争うレース展開。その後、6区から8区まで区間最高の走りを見せた湯浦中がトップでゴールし、連覇を果たしました。一方、田浦中は惜しくも3位の結果となりました。

1月のできごと

1/23

「そば」産地化へ向け助っ人登場

東部保健福祉センター（旧古尾中学校）に、電動の石臼製粉機が設置されました。

これは、上原、大野、古石地区で行われている「そば」づくりを通じた地域活動の支援と、事業規模の拡大を目的に設置されたもの。電動の石臼製粉機の外、石などの不純物を取り除く石抜機、麺打ち台など、町が自治総合センターの助成（宝くじ益金活用事業）を受けて整備しました。

当日は、各団体の代表者が参加し、メーカーから機械操作の説明を受け、早速製粉機を動かしました。

この機器導入によって、「そば」の産地化へ向けた取組が期待されます。



お祝い金を受け取る親子

1/28

次代を担う子供の 健やかな成長を願って

合併後初の子室お祝い金交付式が役場で行われました。今回対象となったのは、3子目が先月生まれた方1人、3子目以降が誕生日を迎えた方19人。「すべては子供たちのために」という取組の一環で、3子目以降の誕生時には10万円、3子目以降が5歳の誕生日を迎えるまで毎年5万円が交付されます。

竹崎町長は「少子高齢化が進んでおり、社会を支える人口が減少している中で、皆さんは町に貢献いただいている」とお祝いの言葉を述べました。

1/30

迫力の演奏と演技に観衆魅了 ～芦北町音楽祭～

しろやまスカイドームで合併記念イベント「芦北町音楽祭」が盛大に行われ、町内外から約500人が吹奏楽とマーチングを楽しみました。

第1部は、芦北町吹奏楽団がオープニングを飾り、日ごろの練習の成果を披露しました。続いて、八代第一中学校と全日本マーチングコンテスト銀賞の熊本工業高等学校吹奏楽部によるダイナミックな演奏が披露され、趣向を凝らした構成に観客からは、盛大な拍手が送られました。

第2部は、県内外の多くの地域行事等に積極的に参加し、マーチングバンド・パトントワリング全国大会金賞の専修大学玉名高等学校 Drum & Brass Corps、県小学校バンドフェスティバル金賞の玉名小学校金管バンドなど4団体が、アリーナ全面を使ったスピーディーで力強く、華やかなマーチングを披露し、観客を魅了しました。最後に全団体約200人がマツゲンサンバを合同演奏。観客は、大迫力の音楽と華やかなダンスに魅了され、会場全体が拍手の渦に包まれフィナーレを飾りました。



趣向を凝らした演奏を披露する八代第一中学校

1/20

もちつきで合格祈願

受験シーズンを間近に控え、佐敷中学校で3年生80人と保護者が参加して「合格祈願もちつき」が行われました。

合格を祈願するとともに、親、友達、先生とのお互いのふれあいのために行われる伝統行事。教頭が「80人一人一人が協力し合ってもちをついて、全員が進路選択が希望どおり叶うように頑張らしましょう」とあいさつされました。

もちつきは、総合学習の時間を利用して行われ、保護者、先生が指導。もち米60kgを生徒が交代でつきあげました。もちは、1・2年生に配った後、五松園、芦北農産学校などの各施設にも配りました。



合格を祈願してもちをつく生徒

1/8

無病息災を願いどんどや

小田浦小学校で、恒例となっている同校PTA（元山秀志会長）主催のどんどやが行われました。

会場となった、小田浦小学校のグラウンドには、同校児童や保護者、地域住民など約200人が参加しました。

当日の朝から準備されたやぐらは、高さ約6メートルの大きさで、関係者の話では、昨年の台風の影響で出た風倒木などを集めており、例年よりも大きくなったそうです。

同校の6年生が火入れを行うと、快晴の夜空に向かい勢いよく燃え上がり、児童は竹のはじける音に歓声をあげながら、やぐらの燃える様子を見守りました。

当日は、グラウンドに特別に準備された書初めの道具を使い、児童が思い思いに願い事を書いた紙を「どうか願いがかなうように」と火に投げ入れ燃やしました。

火が下火になると、竹に付けた餅を焼き、焼きたての餅に舌鼓を打ちました。また、豚汁が振舞われ、冷えた体を温めました。



やぐらの燃える様子を見守る児童

1/6

新町の指定金融機関と調印

役場応接室で芦北町指定金融機関調印式が行われました。

芦北町の指定金融機関となったのは、あしきた農業協同組合。式には、町や同組合の関係者12人が出席し、竹崎町長職務執行者（当時）と坂本代表理事組合長が契約書を交わしました。



調印を終え握手を交わす竹崎町長職務執行者（当時）と坂本組合長

物品等納入業者の登録について

平成17年度及び平成18年度において、芦北町が発注する物品の製造請負、売買及び賃借並びに役務の供給にかかる入札等に参加しようとする業者の方は、「平成17・18年度芦北町物品等一般(指名)競争入札参加資格申請書」の提出が必要です。

なお、平成16年度に申請書を提出している業者には、申請書を送付しています。

申請期間／平成17年2月1日(火)から平成17年3月31日(木)まで(土・日・祝日を除く)

受付時間／午前9時から午後5時まで(※正午から午後1時を除く)

提出先／芦北町役場総務課管理係(本庁舎2階)

提出部数／1部

有効期間／平成17年4月1日から平成19年3月31日まで

お問い合わせは、役場総務課管理係 ☎82-2511(内線215)

スマトラ島沖地震救援金の募集期間の延長について

スマトラ島沖地震救援金の募集期間が、被害が甚大なことから下記のとおり延長されることになりました。

募集期間／平成16年12月28日(火)～平成17年3月31日(木)

受付方法／(1)郵便振替……NHK放送による周知口座

口座番号 00110-2-5606

名 義 日本赤十字社

・振替用紙の通信欄に「スマトラ島沖地震救援」と明記してください。

・郵便局窓口での取り扱いに限り、振替手数料免除

・日赤が発行する受領証を希望する場合は、通信欄に「受領証希望」と明記してください。

(2)銀行振込

銀行名 みずほ銀行新橋中央支店

口座番号 普通預金 1954800

名 義 日本赤十字社一海外救援金口座

・みずほ銀行本店・支店、ATMからの振り込みについては手数料無料

・ATMによっては口座名義入力文字数に制限がありますが「ニホンセキシュウジヤ」までの入力でも送金は可能です。

・日赤が発行する受領証を希望する場合は、件名または本文に「スマトラ島沖地震救援」と記入のうえ、振込者名、受領証の宛名、送付先住所・電話番号、振込金額、振込月日、振込先(みずほ銀行)をinfo@jrc.or.jpあて、メール送信してください。

お問い合わせは、役場福祉課社会福祉係 ☎82-2511(内線151)

民生委員・児童委員協議会が発足しました

旧田浦町と旧芦北町の合併に伴い、平成17年1月11日に芦北町もやい直しセンター(きずなの里)において、旧両町の民生児童委員協議会が統合されて、新しく68人の芦北町民生委員児童委員協議会が発足し、会長に坂口健一さん、副会長には田中照雄さん、小野田桂子さんが選出されました。

民生委員・児童委員は、住民の地域福祉に関する相談に応じ、様々な福祉活動を展開しています。

任期：平成16年12月1日～平成19年11月30日

(敬称略)

氏 名	担 当 地 区
下田 義治	鶴木山
山下平四郎	計石西
田平喜代美	計石東
江島 茂松	大丸団地
上村 暎	白岩
金子 勲子	桜島・山崎
溝内 律子	川原・駅通り
宮下 秋男	芦北・龍宮団地
坂口 義人	道川内
横山 照子	乙千屋
日野 輝生	向町
村上紀美子	本町・上町
佐藤 秋子	新町
小野田桂子	花岡東
立迫 安信	花岡北・諏訪
山下 勝喜	田川
楠原 昌美	八幡・桑原
山田 茜子	宮浦・伏木氏
浅野久美子	松生・大尾田
立古 次人	立川
鬼塚 一貞	大岩1、2、永谷
岩本 秀富	岩屋川内・黒岩
本村 憲裕	吉尾・市居原
瀬口 秀子	腰瀬
測上 米作	上原・内木場
谷岡 数子	海路・高田辺
鎌畑 照夫	白石・小口
川口スミ子	告
才松 和子	才木・長沢
白山 義光	塩浸・白木
坂寺 貴	本村・市野瀬
草野 國光	中園・松生・園見
田口 福江	福浦・沖
大崎 修一	大崎・釜・小崎

氏 名	担 当 地 区
平生 藤男	平生
田上 成美	湯浦東
馬場 律子	湯浦北
池松 精一	橋本・山川
橋本 英昭	湯南団地
釜 ヒサ子	梶・道園
宮島 和子	寺川内・諏訪団地
鬼塚 昌久	馬場・広瀬団地
地方ツヤ子	米田
前田 貞雄	丸山
坂口 健一	豊岡・大川内西
宮島 一六	大川内東・大川内南・尾奈古
一期崎靖雄	高岡・元大川内
岩間 一男	古石
轟田ムツエ	田浦1・3
片山 又雄	田浦2・4
松田 文彦	田浦町1・2の一部
濱田ヒデ子	田浦町1の一部
中川 一裕	田浦町2の一部
吉野 利幸	田浦町3・4
上村 集一	小田浦1・2
平松 松喜	小田浦3・4
山田 邦子	小田浦5
坂井ナツエ	小田浦6・7
田中 照雄	海浦1
高野 信子	海浦2
嶋本富士雄	波多島
宮本 久人	井牟田1・2
山下 静江	横居木
森田 初見	旧佐敷地区(主任児童委員)
宇ノ木梓子	旧大野・吉尾地区(主任児童委員)
本山 洋子	旧湯浦地区(主任児童委員)
峯 良子	小田浦・海浦小校区(主任児童委員)
山口 等	田浦小校区(主任児童委員)



再就職希望登録者 支援事業の御案内

あなたの再就職を応援

育児や介護から手が離れたら、もう一度働きたいあなたの再就職を応援します。
登録すると、次の支援が無料で受けられます。

- ◇「再就職準備セミナー」の参加
- ◇「再就職に役立つ情報紙」の提供
- ◇「個別相談」

登録手続きは無料です。

※お問い合わせは、
厚生労働省指定法人
財団21世紀職業財団 熊本事務所

☎096-324-2297

原材料の産地が表示される食品が広がります

これまで生鮮食品と漬物など8品目の加工食品の原材料だけに産地表示が必要でしたが、「JAS法」に基づく加工食品品質表示基準の改正により、「こんにゃく」「緑茶」「焼きたけのこ」「かつおのたたき」など生鮮食品に近い加工品以上の加工食品に主な原材料の産地表示が義務付けられました。

なお、経過措置として、平成18年10月1日までに製造されるものは、従来の表示もできます。

※お問い合わせは、
熊本県環境生活部
食の安全・消費生活課へ

☎096-387-5558

交通事故無料相談

専門の相談員が、自動車保険などについての内容や保険金請求手続きなどについての説明や相談に応じます。

◇相談受付

月曜日～金曜日（祝日を除く）

【時間】9時～12時・13時～17時

◇弁護士相談日（要予約）

毎月第2・4水曜日

【時間】14時～16時

【場所】熊本自動車保険請求相談センター（熊本市幸島町）
※お問い合わせは、
（社）日本損害保険協会
熊本自動車保険請求相談センターへ

☎096-324-8740



内閣府青年国際交流事業 に参加しませんか

内閣府では、将来を担う国際感覚豊かな青年を育成するため、様々な国際交流事業を実施しています。

【平成17年度実施事業】

「国際青年育成交流」

「日中、日韓青年親善交流」

「世界青年の船」

「東南アジア青年の船」

【対象者】18歳～30歳

【募集期間】3月7日（月）

～4月1日（金）

【中間選考日】4月15日（金）

※お問い合わせは、

熊本県交通安全・青少年課へ

☎096-383-1111

（内線7409）

労働保険加入の 事業主の皆様へ

平成17年1月1日の合併に伴い、現在登録されています事業場の所在地の表示が変わることになります。

本来ならば、事業場を管轄する労働基準監督署又は公共職業安定所に所在地変更の手続きを行っていただくところですが、今回につきましては、すべて熊本労働局において変更の処理を行います。ただし、事業場の移転による所在地の変更については除外されます。また、新所在地の表示は、平成17年8月1日から10月31日にかけて変更されますので、それまでの間は旧所在地で表示されます。



熊本県シルバースポーツ 交流大会参加者募集

高齢者の健康・生きがいづくりを目的に「第17回熊本県シルバースポーツ交流大会」を開催します。スポーツ愛好家の皆様、ふるって御参加ください。

【競技種目】

ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、健康マラソン、弓道、剣道、グラウンドゴルフ、太極拳、ソフトバレーボール、サッカー 以上14種目

【競技会場】

熊本県民総合運動公園 外3会場

【日程】5月16日（月）～21日（土）

【参加資格】

県内在住者で、60歳以上の者（健康マラソン女子は、50歳代も参加できます）

【参加費】1人500円

【募集期限】3月14日（月）まで

※お問い合わせは、

（財）熊本さわやか長寿財団
生きがい推進課へ

☎096-354-3083



熊本さわやか大学校開催

高齢者の健康・生きがいづくりを目的に「熊本さわやか大学校」を開催いたします。1年間にわたる幅広い学習や体験を通して、生きがいの再発見、社会参加、さらには、新たな交流にきっかけづくりをしませんか。

【入学資格】県内在住で、学習意欲のある60歳以上の入塾と20年4月1日以前に生まれた人

【募集定員】熊本校100人

八代校80人

【募集期限】3月14日（月）まで

【講座内容】健康基礎講座、ボランティア実践入門、創作粘土入門、

スポーツのすすめなど、年間40講座

【開催日】

熊本校 毎週水曜日

八代校 毎週火曜日

【時間】13時30分～15時30分

【受講期間】平成17年4月

～平成18年3月

【会場】

熊本校 熊本県総合福祉センター

八代校 やつしろハーモニーホール

【受講料】8,000円

【入学金】1,000円

※お問い合わせは、

（財）熊本さわやか長寿財団
生きがい推進課へ

☎096-354-3083

お誕生 おめでとう

H17.1.1～1.31 受付分



（敬称略）

名前	出生日	性別	保護者	行政区
入江 明	12.24	女	俊 仁	海浦2
米良 陽希	12.28	男	正 覚	計石西
立古 常明	1. 5	男	昌 文	花岡東
迫本 望愛	1.19	女	昌 文	小田浦3
井上 美玖	1.20	女	貴 和	平 生
吉村 洋哉	1.23	男	和 洋	瀬浦南

ご冥福を お祈りします

（敬称略）

死亡日	亡くなられた方	年齢	行政区
1. 2	山下キヨ子	79	花岡東
1. 2	吉田 良信	88	花岡東
1. 2	下本 才吉	87	向 町
1. 2	井手口ワカノ	81	瀬浦南
1. 2	執柄ミエ子	80	宮 西
1. 4	小崎 キズ	95	宮 西
1. 5	福浦 基太	89	福 浦
1. 5	野口 國雄	54	大川内南
1. 7	松岡キクノ	85	海浦2
1. 7	鹿野ヒサ子	82	田浦町1
1. 9	宮島 新吉	79	花岡北
1.10	一高 保任	95	市野瀬
1.12	山内ナミコ	91	古石南
1.12	倉岡ツギモ	83	大川内西
1.12	吉田ミヤコ	93	本天月
1.13	牧野ミトリ	92	本天月
1.13	宮森 信雄	83	白 岩
1.15	浪崎榮次郎	86	波多島
1.16	山内 稔	73	瀬浦北
1.16	小崎 等	80	瀬浦東
1.16	板崎 正人	70	田浦町2
1.21	山口 義勝	67	花岡東
1.22	山本 幸子	95	田 川
1.24	吉田 惇二	79	花岡北
1.24	中田 務	76	小田浦6
1.25	山田 義男	77	米 田
1.26	才本 アヤ	88	天 月
1.27	中原 孝一	46	沖 高
1.30	満上 文雄	55	高岡南
1.30	稲田ちづ子	52	横尾木

人口のうごき（H17.2.1現在）

（ ）内は前月比

人口	21,927人	(-23)
男	10,263人	(-12)
女	11,664人	(-11)
65歳以上	6,984人	(+13)
高齢化率	31.9%	(+0.1)
世帯数	7,622世帯	(+4)

EVENT INFORMATION

第1回

熊本県こども 民俗芸能大会

子供たちの民俗芸能に対する理解と認識を深め、併せてその保存伝承を図る発表会として開催します。地元内野棒踊り保存会も出演。みなさんお誘い合わせのうえ御来場ください。

入場無料



内野棒踊り保存会

■期 日/平成17年2月27日(日)
■時 間/12:00開場 12:30開会
■場 所/芦北町民総合センター
くしろやまスカイドーム

■お問い合わせ/
教育委員会生涯学習課文化振興係
(田浦基幹支所内)
☎87-1171

■出演団体
伊倉仁○加保存会(玉名市)、出田の獅子舞子ども教室(菊池市)、春日小学校こどもちゃんかけごまクラブ(熊本市)、泉村立泉第八小学校(泉村)、人吉市立田野小学校(人吉市)、平国六方踊り風ん子もやい保存会(津奈木町)、内野棒踊り保存会(芦北町)

環境絵画コンクールで優秀賞受賞

「環境について考えること、感じていること」というテーマで実施された環境絵画コンクールで、福田雅弥君(湯浦小6年)が、優秀賞を受賞しました。福田君は、昨年に引き続き2度目の受賞。また、元山弦君(小田浦小1年)が、入選しました。

コンクールは、熊本県環境センターが、環境について考える機会の提供と環境にやさしい行動のきっかけづくりとして、県内の小学生を対象に募集したもので、712点の応募がありました。

入賞作品は、環境センターほか、県内各地で展示されるとともに、優秀賞受賞作品による「環境カレンダー」が製作されます。



福田君の作品「地球はみんなのもの!!!」

馬場駿さん元気に満100歳

1月17日、岩屋川内の馬場駿さんがめでたく満100歳を迎えられました。

この日は、御家族の外、親戚の方約20人が集り100歳の誕生日をお祝いされ、訪れた竹崎町長職務執行者当時が長寿の慶祝金を贈り、お祝いの言葉をかけると、「ありがたうございまして」とお礼の言葉を述べられました。

とにかく働き者だったという駿さんは、現在も御自分で食事を取られるほど健康で、週3回のデイサービスを楽しみにされています。

長男の伸夫さんは「親とこんなに長く一緒に過ごせることは、大変幸せです」と話されました。

いつまでも元気に暮らし続けることをお祈りします。



慶祝金を受け取る馬場駿さん 右が長男の伸夫さん